

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 静甲株式会社

コード番号 6286 URL <http://www.seiko-co.com>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 鈴木 恵子

問合せ先責任者(役職名) 取締役

(氏名) 鈴木 孝明

TEL 054-366-1106

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	5,609	22.3	△62	—	△31	—	△38	—
25年3月期第1四半期	4,588	△3.0	△83	—	△62	—	△22	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 163百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △98百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△5.99	—
25年3月期第1四半期	△3.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	17,049	12,418	72.8
25年3月期	17,760	12,325	69.4

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 12,418百万円 25年3月期 12,325百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,300	11.9	130	△33.1	150	△31.3	60	△61.7	9.25
通期	25,000	△0.8	380	△44.8	420	△42.9	250	△43.3	38.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	6,483,323 株	25年3月期	6,483,323 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	11,094 株	25年3月期	1,094 株
----------	----------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	6,481,020 株	25年3月期1Q	6,482,279 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料2ページ「1. 経営成績・財務状態に関する分析(1)経営成績に関する分析」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新政権による経済・金融政策により、円安、株高が進行し景気回復への期待感が高まりましたが、雇用情勢や所得環境の改善にむけた実感はなく、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、前期に引き続き「防災・省エネ・IT」をキーワードに設備投資を実施するとともに、お客様のニーズに合った新製品の開発を継続するなど、製品競争力の強化および販売店との関係強化を図り安定した受注確保に取り組んでまいりました。

車両関係事業では、新型車の販売が引き続き好調であったため、前年同期の実績を大きく上回りました。また、産業機械事業も前年同期の実績を上回り、冷間鍛造事業は前年同期並みとなりました。一方、電機機器事業は前年同期の実績を下回りました。

これらの結果、当社グループの売上高は前年同期比22.3%増の56億9百万円となりました。利益面では、経常損失3千1百万円（前年同期は6千2百万円の損失）、四半期純損失3千8百万円（前年同期は2千2百万円の損失）となりました。

なお、前年同期には、固定資産売却益4千8百万円を特別利益に計上しております。

〔産業機械事業〕

主要な販売先である食品やトイレタリー業界をはじめとして、設備投資への意欲をみせはじめており、大型案件の売上は少なかったものの、売上高は前年同期比10.4%増の5億7千6百万円となりました。利益面では、開発要素の多い案件の売上による原価高および仕掛品の評価損を売上原価に計上したこと、また、前年同期のような利益率の高い大型案件の売上がなかったこともあり、セグメント損失（営業損失）は6千9百万円（前年同期は7百万円の利益）となりました。

〔冷間鍛造事業〕

電動工具部品は売上を伸ばしましたが、自動車部品は伸び悩みました。一方、事務機・産業機械部品は前年同期並みに推移いたしました。これらの結果、売上高は前年同期比0.1%減の4億1千6百万円となりました。利益面では、老朽化した生産設備の修繕を実施したため、セグメント利益（営業利益）は前年同期比16.4%減の3千3百万円となりました。

〔電機機器事業〕

設備機器においては、大型物件を売り上げることができたため、前年同期の実績を上回りました。しかし、主力のFA関連機器は、液晶や半導体関連装置の機械メーカーなどを中心に需要が低調であったため、前年同期の実績を下回りました。また、空調・冷熱機器は入替需要の獲得に努めましたが、前年同期にあったような大型物件の売上がなかったため、前年同期の実績を下回りました。これらの結果、売上高は前年同期比5.2%減の7億4千8百万円となりました。利益面では、減収および人員の増加による経費増などにより、セグメント利益（営業利益）は前年同期比93.9%減の1百万円となりました。

〔車両関係事業〕

新車販売は、平成23年12月に投入した新型インプレッサ及び平成24年10月に投入した新型フォレスターが引き続き好調に推移し、高価な登録車の販売台数が大幅に増加いたしました。また、輸入車販売、中古車販売、サービス部品部門も前年同期の実績を上回りました。これらの結果、売上高は前年同期を大きく上回り、前年同期比35.7%増の38億4千3百万円、セグメント利益（営業利益）は、増収により1億4千3百万円（前年同期は7百万円の損失）となりました。

〔不動産等賃貸事業〕

売上高は、前年同期比10.8%減の2千3百万円、セグメント利益（営業利益）は、減収により前年同期比46.2%減の7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、170億4千9百万円となり、前連結会計年度末から7億1千1百万円減少いたしました。

この内、流動資産は78億9千1百万円となり、前連結会計年度末から12億1千7百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少8億8千8百万円、受取手形及び売掛金の減少9億4千万円、商品及び製品の増加1億7千6百万円、仕掛品の増加3億9千1百万円によるものであります。

固定資産は91億5千8百万円となり、前連結会計年度末から5億6百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物の増加1億8千2百万円、時価評価による投資有価証券の増加3億7百万円によるものであります。

負債合計は46億3千万円となり、前連結会計年度末から8億5百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少3億7千2百万円、未払法人税等の減少1億9千3百万円、賞与引当金の減少1億6千9百万円、流動負債のその他の減少1億7千2百万円によるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末とほぼ同額の124億1千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成25年5月10日付当社「平成25年3月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算方法

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,716,630	2,828,617
受取手形及び売掛金	3,506,514	2,566,407
商品及び製品	823,315	999,554
仕掛品	499,779	891,081
原材料及び貯蔵品	27,361	26,860
その他	538,183	580,792
貸倒引当金	△2,446	△1,909
流動資産合計	9,109,339	7,891,404
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,803,949	1,986,116
土地	3,289,247	3,276,245
その他(純額)	1,233,774	1,236,708
有形固定資産合計	6,326,971	6,499,070
無形固定資産	154,598	156,438
投資その他の資産		
投資有価証券	1,794,948	2,102,775
その他	375,275	399,979
貸倒引当金	△146	△146
投資その他の資産合計	2,170,077	2,502,608
固定資産合計	8,651,647	9,158,117
資産合計	17,760,987	17,049,521
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,299,564	1,927,111
短期借入金	50,704	50,704
未払法人税等	261,191	67,859
賞与引当金	370,049	200,865
資産除去債務	6,092	6,092
その他	1,258,633	1,085,831
流動負債合計	4,246,235	3,338,463
固定負債		
長期借入金	312,198	301,147
退職給付引当金	277,290	281,425
役員退職慰労引当金	115,409	116,989
資産除去債務	42,118	42,263
その他	442,659	550,563
固定負債合計	1,189,674	1,292,388
負債合計	5,435,910	4,630,852

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,337,000	1,337,000
資本剰余金	1,833,576	1,833,576
利益剰余金	8,499,596	8,395,916
自己株式	△697	△5,757
株主資本合計	11,669,474	11,560,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	655,602	857,933
その他の包括利益累計額合計	655,602	857,933
純資産合計	12,325,077	12,418,668
負債純資産合計	17,760,987	17,049,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,588,285	5,609,295
売上原価	3,615,815	4,548,589
売上総利益	972,469	1,060,706
販売費及び一般管理費	1,055,986	1,123,037
営業損失(△)	△83,517	△62,330
営業外収益		
受取利息	125	257
受取配当金	15,071	18,444
その他	13,099	19,806
営業外収益合計	28,295	38,509
営業外費用		
支払利息	1,691	1,297
売上割引	5,412	5,737
その他	462	924
営業外費用合計	7,566	7,958
経常損失(△)	△62,787	△31,779
特別利益		
固定資産売却益	48,665	738
特別利益合計	48,665	738
特別損失		
固定資産売却損	—	320
固定資産除却損	886	3,278
投資有価証券評価損	4,601	—
特別損失合計	5,487	3,599
税金等調整前四半期純損失(△)	△19,609	△34,640
法人税等	3,180	4,216
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△22,789	△38,857
四半期純損失(△)	△22,789	△38,857

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△22,789	△38,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75,830	202,331
その他の包括利益合計	△75,830	202,331
四半期包括利益	△98,620	163,473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△98,620	163,473
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。